

令和3年度（第4期）事業計画書

一般社団法人パーソナルサービス支援機構

I. 事業期間

令和3年4月1日 ～ 令和4年3月31日

II. 事業の実施方針

1. 事業計画の重点テーマ

これまで、不登校支援やひきこもり支援をおこなう上で、ここ鹿児島県大隅地域全域を活動範囲とする場合、どうしても通所手段や家族による送迎に関する課題が挙げられます。特に、経済的困窮や1人親家庭についてはその課題が顕著に表れ、支援の手が行き届かないことによる様々な問題が複合的に重篤化し、貧困等の負の連鎖が繰り返されることを危惧されてきた。

そこで当機構では自主事業として「訪問・送迎」を軸にした仕組みづくりを3年前からおこない、今ではその「訪問・送迎」用の社用車は

2. 周知・広報活動

引き続き、大隅地域に必要な社会資源として認知していただくために、積極的な広報活動と営業活動を行う。連携しうる行政機関や支援組織等を一貫的支援のおおよそ順に挙げると、

- ・公立小中学校、高校 ・教育委員会(行政) ・児童家庭支援センター ・養護養護施設
- ・スクールカウンセラー ・スクールソーシャルワーカー ・子ども若者総合相談センター
- ・引きこもり地域支援センター ・子育て支援課(行政) ・福祉政策課(行政)
- ・こども福祉課(行政) ・県生活困窮者自立支援相談機関 ・県弁護士協会 などとなり、パンフレット・チラシ・ポスターを作成し、広く広報する。合わせて、ホームページやSNSといったネット媒体での広報も行っていく。

就労支援の一環として、就労体験や職場見学の受入れ企業や事業所の開拓をおこない、支援の出口対策だけでなく、地域共生の社会をめざす取り組みを進める。

1周年を記念したシンポジウムには定員を越す参加があり、相談会や養成講座などにも多くの方がご参加くださり、そういった方々からの口コミも増えている中で、しっかりした組織づくりをおこなっていかねばならない。

III. 事業の実施に関する事項

1. 体制について

(1) 役員

- ・理事：大倉一真(代表理事)、谷川勝彦、谷口絵里子
- ・監事：吉永智恵

(2) 職員

- 常勤 大倉一真、谷口絵里子（以上2名）
- 非常勤 一松ちあき、中島巧琳、大倉結希（以上助成事業従事3名）

2. 事業内容

〔本体事業〕

「P S スクールかのや」

- ・通信制高校等学習サポート
- ・フリースクール
- ・リカレントスクール(生涯学習)

「かのや自立就労サポートセンター」

- ・相談活動
- ・はたらく準備プログラム（各種セミナー、職業訓練、職場体験）

「おおすみ子どもアドボカシーセンター」

- ・子どもなんでも相談
- ・子どもアドボカシーの周知活動

〔助成金事業〕

「医療福祉機構（WAM）」

- ・子どもの居場所支援
- ・寄り添い支援地域ボランティア育成
- ・仕事体験プログラム

〔その他事業〕

「かごしま8050ネットワーク事務局」

- ・相談受付および支援コーディネート
- ・ネットワーク会員情報メール配信